

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	7 月	25 日	記入者	鈴木英一
調査者名	亀田	久門	関	橋詰	鈴木

調査対象先	般若寺(真言律宗)						
所在地	奈良市般若寺町221			電話番号	0742-22-6287		
代表者 調査対応者	工藤良任 住職						
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件	重文:	2 件
	建造物	県指定:	1 件 1 棟	国宝:	1 件 1 棟	重文:	2 件 2 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	重文の十三重の石塔は、鎌倉期に建てられ、過去3回地震で被害に遭っている。うち二回は記録があり、1回は現在の塔の下から2段目が改修されているが記録はない。
	今後の予定	この地域は東から西に走る尾根筋上にあり、地盤が固いので対策はしていない。
	要望	県で対策に対して融資制度等を考えて頂ければ、対応していきたい。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	防火水槽・火災報知機・消火器を一応装備しているが、旧式である。
	今後の予定	出来れば、実施していきたい。
	要望	36年前に本堂の屋根を修理した際、県と市(県の半額)は融資してくれた。このような制度を作って欲しい。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

般若寺(真言律宗)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	蜂が柱や紅梁に穴を開け住みついて子育てしている。
③ 今後	今後の予定、要望	有効な駆除対策が必要。

本堂正面(県指定)



十三重の石塔(重文)。下から2段目形状が異なる



蜂穴(白い丸と黒い丸)が見られる本堂の紅梁



般若寺楼門(国宝)



花の寺。鷗外の時代など戦前は山吹



【調査票記入者(鈴木英一)の感想】

住職を先頭に着実に整備に取り組まれている。